

<別紙> 情報提供様式

事例名	
中高一貫校における効果的なスクール・サポート・スタッフの活用	
学校名	
県立守山中学校・高等学校	連絡先 077-582-2289
取組分野(複数選択可)	
<input checked="" type="checkbox"/> 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の効果的な活用事例	
直面していた課題(取組前の様子)	
<p>・必ずしも教員が行わなくてもよい単純な事務作業に時間がかかり、生徒対応や教材研究の時間が削られてしまったり、結果として時間外勤務が増えたりしていた。</p>	
在校等時間の縮減に向けた具体的な取組内容	参考となる写真や資料を添付
<p>【中高のスクール・サポート・スタッフ二人が協力・連携して行う作業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高の学校説明会における配付資料の袋詰め(中:500部 高:1500部) ・中高の入学オリエンテーション資料の袋詰め(中:80部 高280部) ・図書館用図書のパッカー貼り ・中高の家庭科調理実習前に、調理器具と食器の洗浄 ・職員が手薄な時間帯の電話対応(事務室を含む) ・毎朝配達されてくる中学給食用牛乳の仕分け(40×6クラス) ・共用机、階段手すり、トイレドア等の消毒および消毒液・石けん等の補充 ・校内掲示物の貼り替え 等 <p>【中高それぞれが行う作業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者あて文書等の仕分け、袋詰め(事務室を含む) ・教員チェック後の提出物の整理 ・授業用プリント等の印刷 等 <p>【取組のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高共通の業務を二人が協力して行うことでより効率的に実施できる。 ・行事等により中高・学年等で手薄になる時に柔軟に業務支援ができる。 	 
取組の成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・教員にとって、授業がない時間(昼休みや放課後等)に時間的な余裕ができ、生徒との面談や質問に応じる時間が確保できた。 ・教材研究に割く時間を増やすことができた。 ・教員本来の業務の充実を図りながら、合わせて在校時間を少しでも減らすことに効果があった。 <p>成果のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人が協力・連携することで、より効率よく業務をこなすことができる。 ・互いに時間を融通しあったりすることで、個人への負担を軽減できる。 	